



鬼退治にいくぞー(劇・桃太郎)



劇のナレーションも自分たちで

みんなで頑張りました

認定こども園ましゅう第1回園児発表会



元気に歌を歌う園児たち

認定こども園ましゅう(鈴木幸榮園長)の第1回園児発表会が11月2日、摩周観光文化センターで行われました。

認定こども園ましゅうとなつてはじめての発表会は、各組ごとに歌や踊り、劇などを披露。この日のために一生懸命練習してきた成果を、舞台の上で元気いっぱい発表していました。

カメラやビデオなどを手にして集まった保護者などからは、声援とたくさんの拍手が送られました。

発表の合間に行われた「僕の夢、私の夢」では、ぞう組の園児たちが、大きな声で夢を発表しました。警察官や大工さん、お花屋さんなどの夢が発表されるたびに、大きな歓声が起こりました。



古瀬貞子さん(左)



南但雄さん(左)

古瀬さんと南さんは、10月29日に弟子屈警察署で表彰伝達されました。

南但雄さんは、昭和61年から、町暴力追放運動推進協議会に所属し、川湯硫黄山での暴力団員による蒸し卵無許可販売に関する暴力団排除活動や、当町の暴力追放運動に積極的に参加されたとして「令和元年度北海道警察本部長・北海道暴力追放センター会長連名による暴力追放功労者表彰」を受賞しました。

古瀬貞子さんは、昭和62年から弟子屈防犯協会に所属し、長年にわたる地域安全活動に尽力された功績から「令和元年全国防犯功労者表彰 犯荣誉銀賞」を受賞。現在も弟子屈地区防犯協会連合会理事としてご活躍されています。

北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞を受賞。10月11日に札幌で行われた「安全安心なまちづくりの道民の集い」で表彰されました。



田中会長(左)

長年にわたり防犯活動などに尽力され、表彰された皆さんが11月7日、町役場で徳永町長に、受賞報告を行いました。

弟子屈地区防犯協会連合会(田中富士男会長)は、犯罪のない安全で安心な地域づくりに関する自主的な活動を行っている団体として「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞」を受賞。10月11日に札幌で行われた「安全安心なまちづくりの道民の集い」で表彰されました。

町の話



楽しいゲームでおもてなし

ましゅうランドを開催



ゲームの遊び方もしっかり説明

「とても楽しい」「魚がたくさん釣れた」「もっとやりたい」など、どのお店でも笑顔があふれ、大賑わいとなりました。

お店を回った園児は「とて楽しい」「魚がたくさん釣れた」「もっとやりたい」など、どのお店でも笑顔があふれ、大賑わいとなりました。



紙コップのけん玉に挑戦



園児からの感想も

町内の小学校低学年の児童が、認定こども園ましゅうと川湯保育園の年長児を招待し、おもてなしをする合同生活科「ましゅうランド」が11月19日、弟子屈小学校(中原英雄校長)体育館で行われました。

「ましゅうランド」は、生活科の授業の一環で、毎年行われています。

町の話



日置市で摩周そばを実演販売

姉妹都市物産交流事業 2019弟子屈祭in日置江口浜を開催



振る舞われた「摩周そば」に行列が



J A摩周湖職員による「そば打ち」も実演

JA摩周湖職員による「そば打ち」も実演。実演試食、農産物販売コーナーは多くの人で賑わい、「北海道で採れた打ちたてのそばを味わえるのはうれしい」「ジャガイモにはたくさんの種類があるんだね」など、遠く離れた北海道との交流に、喜びの声が聞かれました。

JA摩周湖職員による「そば打ち」も実演。実演試食、農産物販売コーナーは多くの人で賑わい、「北海道で採れた打ちたてのそばを味わえるのはうれしい」「ジャガイモにはたくさんの種類があるんだね」など、遠く離れた北海道との交流に、喜びの声が聞かれました。



特産品がずらりと並んで販売されました

この出展は、姉妹都市物産交流事業の一環として行われたもので、日置市も8月に当町で行われた「第13回JA摩周湖農業祭たぶん日本が一番早い新そば祭り」の際に、同市特産品を販売する「鹿児島黒豚&茶美豚祭」2019 in弟子屈」を行っています。

今回当町からは、吉備津副町長をはじめとしてJA摩周湖、弟子屈町振興公社、役場職員ら8人が交流団として参加。物産販売には、文教厚生常任委員会視察に来ていた町議会議員も参加しました。